

当社における不適合品の対応状況について

当社（取締役社長：安竹 睦実、資本金：4,750百万円）において、過去に製造販売した製品の一部について、検査記録のデータの書き換え等の不適切な行為によりお客様の規格値を逸脱した製品等（以下「不適合品」）を出荷した事実（以下「本事案」）がありましたので、その対応状況について下記のとおりお知らせいたします。

本事案につきましては、関係各位に多大なるご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。当社では、今後このような事態が再び発生することがないように品質管理体制の強化を図り、再発防止に努めてまいります。

記

1. 経緯

2018年1月24日に、親会社の三菱マテリアル株式会社（以下「マテリアル社」）の社員通報窓口に対して、当社において検査データの不実記載の可能性がある旨の通報があり、マテリアル社により、当社関係者に対するヒアリング調査が実施されました。その結果、自動車用焼結機械部品等について、不適合品が出荷されていることが確認されました。また、1月30日よりマテリアル社により特別監査として、詳細調査が実施されております。

本事案が判明した後、当社では本事案に関する事実確認を進めると共に、お客様へのご説明を開始しております。

2. 本事案の内容

1) 不適切行為の概要

確認期間である2017年1月1日から2018年1月31日までの1年1ヵ月の間に、本社工場（新潟県）から出荷された製品において、主に以下の行為がありました。

- ・寸法等の測定値がお客様の規格範囲外であった製品をそのまま出荷したものの。
- ・寸法等の測定値がお客様の規格範囲外であったにもかかわらず、規格範囲内に書き換えて製品を出荷したものの。
- ・必要な検査を一部実施せずに製品を出荷したものの。

2) ご説明の状況

現在、お客様へのご連絡を進めるとともに、お客様のご協力をいただきながら安全性の確認を進めております。2018年2月7日現在の状況は次の通りです。

現時点で判明している不適合品を出荷したお客様数	73社
説明済みのお客様数	48社

3) 確認期間における出荷数量及び売上高

上記期間における当社全体の出荷数量、売上高	19,460 t、237 億円
うち不適合品の可能性がある出荷数量、売上高	6,459 t、73 億円

3. 現在の対応状況

当社では、速やかに不適合品の出荷を停止し、不適合品を特定するための事実確認を実施した上で、お客様へのご説明を開始しております。

4. 今後の対応方針

今後、お客様へのご説明を進めるとともに、お客様のご協力を得ながら、安全性の検証等の対応を進めてまいります。安全性への懸念等が確認された場合には、迅速かつ適切に対応してまいります。

現在、マテリアル社の特別調査委員会により、本事案の過去の経緯、原因の究明など事実関係の調査が行われておりますので、その結果を受けまして、再発防止策を策定する予定としております。

以 上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ダイヤモンド 企画・管理本部総務部

TEL : 025-275-0111